

①筑紫丘中央公園



図 F 2 ⑫中尾池、⑬ガワシ池



筑紫丘中学校と野間中学校に隣接する公園は、博多工業高校の池山移転に伴い、その跡地を利用して平成5年度に開園しました。大小のグラウンドと遊具があり、子ども連れや高齢者の方達の憩いの場所となっています。

②めぐり坂池



図 D 3

閑静な住宅地の中にあって、静かな落ち着いた感じのする池です。池の北側はうっとうとした森や竹林になっています。南西側にもシイやカジの木が広がり、水辺近くにはクロガネモチの大木があります。

③④原田山池（③原田池、④八田池）③図 E 4、④図 F 4



図 E 4

若久2丁目にある若久菖蒲公園をはさんで東西に2つの池がありますが、どちらも原田山池です。若久菖蒲公園も以前は池だったところで、現在は公園化された時に、1つの池が公園をはさんで東西2つの池に分かれたということです。西側の池は通称「八田池」と呼ばれています。八田池に比べると3分の1ぐらいた大きさではあります。水面にはホティアイオイやヨシ、ガマが生え、カモなど水鳥も見られます。

東側の池は通称「原田池」と呼ばれています。池全体が木本で囲まれて静かな雰囲気があり、池の岸辺や水面の植物も多く、眺めていて楽しい池です。

⑤八良ヶ浦池（はらうがうらいけ）



図 E 5

平成15年度の治水池環境整備事業により整備され、水辺に親しめる空間になりました。また、遊歩道には歩いた距離が分かるように距離表示が書いてあります。池全体が木本で囲まれて静かな雰囲気があり、池の岸辺や水面の植物も多く、眺めていて楽しい池です。

⑥新開池



図 D 6

東若久公民館の北側にあります。現在は治水池となっていますが、昔は水が溜まっていたため、校区の「ふれあい広場」として地域行事等で利用されています。

⑦御畠山公園（おばたやまこうえん）



図 B 6

桜の木や藤棚があり春には花を楽しむことができます。ブグの水飲み場が目印になっていますので、探してみてください！また、公園の近くにある集会所はレトロな雰囲気の運びです。

⑧中尾北公園



図 C 7

平成20年にオープンした新しい公園です。なすびやチュウリなどの野菜の形をした遊具やグラウンドがあり、子ども達が遊びに来ます。また園内にはリサイクルボックスが設置されています。

⑨老松神社



図 C 9

御祭神は、老松神と菅原神です。境内にあるシイの木、カシの木、タブの木等は市の保存樹に指定されています。昭和10年代頃までは推定樹齢3~400年と語られる老松の大木が数本有り、神社の森が遠くからも見えたそうです。

⑩桜ヶ丘公園



図 D 10

昭和53年に開園した桜ヶ丘公園は、その名の通り桜の木や藤棚があり、春には花を楽しむことができます。外環状道路が開通するまでは、上緑池に接しており、堤の上から油山への眺望が広がっていました。

⑪松ヶ枝公園



図 F 8

大きな桜とイチョウの木があります。昔ながらの里山が残っている公園です。遊具もあり子ども達も遊べます。晴れた日には油山方面や市街地の眺めも楽しむことができます。

⑫中尾池、⑬ガワシ池



図 G 7、⑬ガワシ池

中尾池とガワシ池を合わせて、通称「中尾池」と呼ばれています。

中尾池は、ガワシ池との間の道（中尾池の東側）と北側の道から眺めることができます。池の南側は和田緑地保全地区の森が広がり、まろの木の中では見えない静かな雰囲気があります。森の樹木が池の水面にかかり、カモなどの水鳥が多く風情があります。

ガワシ池の東、北、西側からは、池を眺めながら歩くことができます。ところどころ大きな木の枝が水面にかかり、独特の雰囲気を醸し出しています。南側は和田宝満公園になっています。

⑭宝満宮



図 G 6

正式な由緒は不詳ですが、棟板に天保六年（1835年）の銘があり、この頃建立されたと推測されています。御神天皇、神功皇后、玉依姫が祭られています。68段の石段の上に社殿があり、周りを森に囲まれています。

昭和49年度に宝満宮の境内一帯は和田宝満公園として開園しました。

ガワシ池の南側にある公園で、公園内には宝満宮があります。公園への入り口は4ヶ所あり、自然を楽しみながら歩くことができます。

⑮和田宝満公園



図 G 6

昭和49年度に宝満宮の境内一帯は和田宝満公園として開園しました。

清掃が行き届いており、地域の方々がグランドコルクなどで樂しまれています。また、桜の木もあり、春には美しい花を咲かせます。

図 I 7



昭和59年度に開園した公園です。

清掃が行き届いており、地域の方々がグランドコルクなどで樂しまれています。また、桜の木もあり、春には美しい花を咲かせます。

⑯筑紫官家（つくしのみゆけ）の跡



図 J 5

6世紀はじめ大和朝廷が筑紫の支配を強化するために設けたとされ、当時は大変重要な拠点であったと考えられます。現在では若宮八幡宮の境内となっており、校舎の「どんどん焼き」の場所にもなるなど地域に親しまれています。

⑰大クス



国道385号の道路拡張工事に伴って、木を切りよう歩道が整備されています。三宅のシンボルだからと地元が熱心に働きかけ、切らずに残ったこの大クスの樹齢は300年はあるそうです。

⑲三宅中央公園



三宅中央公園は昭和53年度に開園しました。面積は13,610m<sup>2</sup>と広くみんなの楽しい遊び場として多くの方に利用されています。

⑳黄緑色の桜



赤い橋（鉄橋）の横で美しい黄緑色の花（ウコンザクラ）を咲かせおり、普段見慣れたピンクの桜とは違った美しさを楽しむことができます。また、那珂川では多くの鷺島の観察でき、市民の憩いの場となっています。

## ため池・那珂川

### 魅力めぐり

